

グリーンケミストリー 第6回研究シンポジウム

主催:グリーンケミストリー連携教育研究センター

共催:理学部化学科

日時:平成28年3月15日(火) 14:00-17:50

場所:大学院物質生産棟161演習室(口頭発表), 同1階ホール(ポスター発表)

プログラム

開会挨拶

長谷川英悦(グリーンケミストリー連携教育研究センター長) 14:00-14:05

セッション I 14:05-15:05 (座長:松岡史郎)

特別講演

113 番元素発見についてのお話し(○工藤久昭)

—休憩—

一般講演 15:10-15:55(座長:大鳥範和)

- 1:リン酸化模倣フェージディスプレイによる Ser/Thr ホスファターゼ基質同定法の開発
(○大坪広大, 米田崇史, 古川和広, 中馬吉郎)
- 2:高い CT 性を持つジアザポルフィリン増感剤の合成と応用(○大桃理志)
- 3:擬プロトン性イオン液体の構造と超 Arrhenius プロトン伝導(○渡辺日香里, 梅木辰也,
土井寛之, 高椋利幸, 亀田恭男, 梅林泰宏)

15:55-16:25(座長:生駒忠昭)

- 4: ESR Approaches to Reveal Protein Dynamics and Structures (○Chia-Jung Tsai)
- 5: 105 番元素 Db の化学実験のための Aliquat33 樹脂を用いた Nb, Ta のフッ化水素酸
中からの固液抽出(○佐藤大輔)
- 6: Cu(II)フタロシアニンを用いた共有結合性有機骨格構造(COF)の光誘起磁気特性
(○渡邊聖也)

—休憩—

セッション II 16:45-17:45(ポスター発表)

- P1:かさ高い置換基を持つナフタレン誘導体を増感剤とした PCB モデル化合物の光分
解反応(○森田侑紀乃)
- P2:ピレン, BODIPY 蛍光発色団を導入した分子内 FRET を生じる新規[2]ロタキサンの
合成および分光学的解析(○近藤優和)

- P3: ヒドロキシアリール置換ベンズイミダゾリンの可視光活性化による種々の有機官能基の還元的変換(○泉谷徳廣, 福田拓也, 根本一輝, 長谷川英悦)
- P4: 窒素架橋ジアザポルフィリン二量体の合成, 構造, および物性(○川俣昌弘)
- P5: コバルトイオン交換 MFI ゼオライトの室温におけるメタンと水素の吸着挙動(○安藤航太, 吉野憲人, 板谷篤司, 上松和義, 戸田健司, 佐藤峰夫)
- P6: ドブニウム(Db)塩化酸化物の気相化学実験に向けた同族元素のオフライン実験手法の確立(○南波佑)
- P7: 104 番元素 Rf の化学研究に向けた同族元素 Zr, Hf チオシアン化物錯体の無担体溶媒抽出挙動(○長岡哲也)
- P8: 104 番元素 Rf の同族元素 Zr, Hf のキレート剤を用いた溶媒抽出挙動の研究(○山田亮平)
- P9: 光誘起機能性物質の機能性メカニズムの解明~安定有機ラジカルを有する TTF 誘導体のスピンドYNAMIX~(○阿部匡矩)
- P10: アニリル基置換ホスホールの発光に対する温度効果(○近 成彦, 茂木祐太, 俣野善博, 三浦智明, 生駒忠昭)
- P11: Poly(3-hexylthiophene) 薄膜の光伝導測定と過渡吸収測定によるキャリアダイナミクスの研究(○秋山諒弥, 内田賢, 三浦智明, 生駒忠昭)
- P12: 液体アルカンの自己拡散係数と粘性率(○石田淳一郎)
- P13: 酢酸系イオン液体中の CO₂ 溶存構造(○對馬裕介, 渡辺日香里, 森山諒平, 牧野貴至, 金久保光央, 堀川裕加, 梅林泰宏)
- P14: 非水溶媒およびリチウム-グライム錯体系溶媒和イオン液体への硫黄の溶解特性(○猪股教大, 松上 優, 都築誠二, 上野和英, 獨古 薫, 渡邊正義, 梅林泰宏)
- P15: ビス-(フルオロスルホニル)アミド(ナトリウム・カリウム)共融混合物の高エネルギー X 線全散乱実験(○加藤江里子, 尾原幸治, 松本一彦, 萩原理加, 松林伸幸, 亀田恭男, 梅林泰宏)
- P16: ポリエーテル側鎖を持つフタロシアン類の重金属イオンとの反応, 構造と分光学的性質(○田中友梨)
- P17: 海洋における懸濁粒子態微量元素の分析のためのマルチ閉鎖型分解, 乾固系の開発(○丸山 魁)
- P18: 立体制約型 DNA アプタマーを用いた PPM1D 機能制御分子の開発(○金子敦巳, 江口正敏, 古川和広, 中馬吉郎)
- P19: 発がんタンパク質 PPM1D 過剰発現細胞における染色体不安定化機構の解明(○鈴木文也, 金子敦巳, 藤田章弘, 小笠原紗里, 小境夕紀, 水上洋平, 古川和広, 坂口和靖, 中馬吉郎)
- P20: 温度感受性ペプチドを用いた発がんタンパク質 SCP の結合モチーフ探索(○米田崇史, 大坪広大, 古川和広, 中馬吉郎)